

5月と10月にいじめアンケートを実施しました。「今年の4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか」の設問に、5月は3名（全体の約1、7％）、10月は7名（全体の約4％）の生徒が「ある」と答えていました。該当の生徒に対して、HR担任が丁寧に話を聞き、状況によっては学年主任や生徒指導部と連携し、適切な指導・支援が行われて解決に至っている事案であり、現在もそのような状況が続いている生徒はいないことが確認されました。

本校では、いじめアンケートの情報を「学校いじめ防止基本方針」に即して、教頭、生徒指導主事、学年主任、特別支援コーディネーター等からなる、「いじめ防止会議」で情報共有をし、組織的に対応しています。今後も学校としては、日頃から生徒の見守りや信頼関係の構築等に努め、生徒が示す変化や危険信号を見逃さず、面談やアンケート調査を通して生徒が相談しやすい環境を整え、積極的にいじめの実態把握に取り組んでいきます。御家庭におかれましても、お子様の僅かな変化に留意され、何か御心配な点がありましたら、学校まで御連絡を頂きますようお願いいたします。